

SAMPLE

特集レポート No. 026

## 機械・工具業界の中間流通の変遷

*Strictly Confidential*

 Info Mart Corporation

2017年 6月28日

## はじめに

---

- 法人向け商材の中間流通業は国内市場の減退、メーカーの直販強化、ネット通販の台頭など、様々な事業環境の変化に見舞われている
- なかでも機械・工具業界は伝統的な商流である一次卸＋地域代理店の販売チャンネルが勢いを失いつつある一方で、トラスコ中山、ミスミ、MonotaROといったカタログ・通販系販売チャンネルの成長が著しい
- 本レポートでは、機械・工具業界の中間流通の構造変化の背景と実態に迫り、他の法人向け中間流通も視野に入れて比較・考察をおこなうことで法人向けビジネスの今後を展望したい

# 本資料の流れ

---

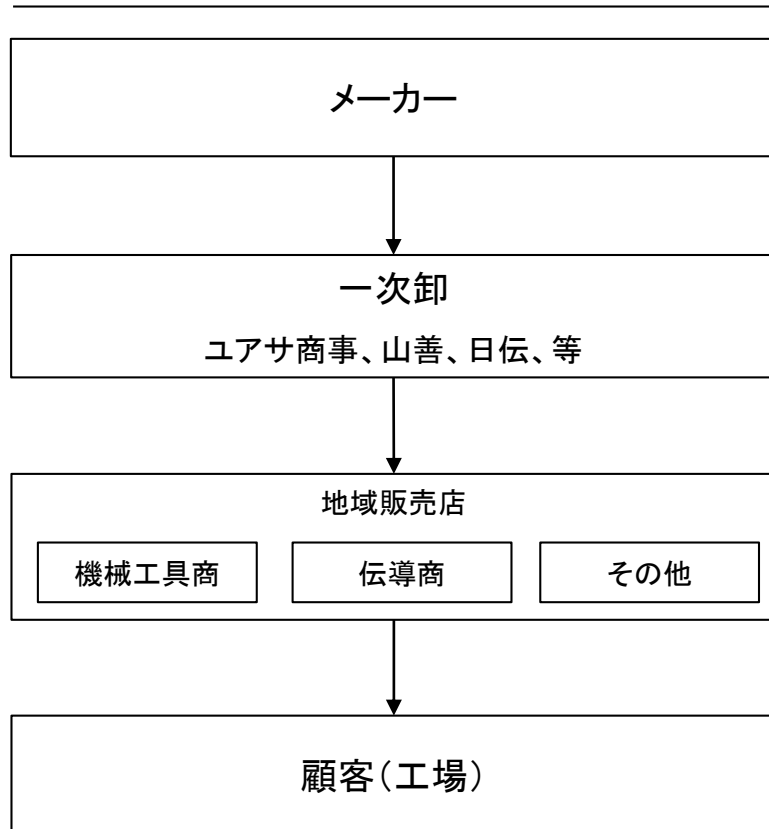


- I. 機械・工具流通の過去から現在
- II. 台頭する通販プレイヤー
- III. 法人向け中間流通業の今後の課題

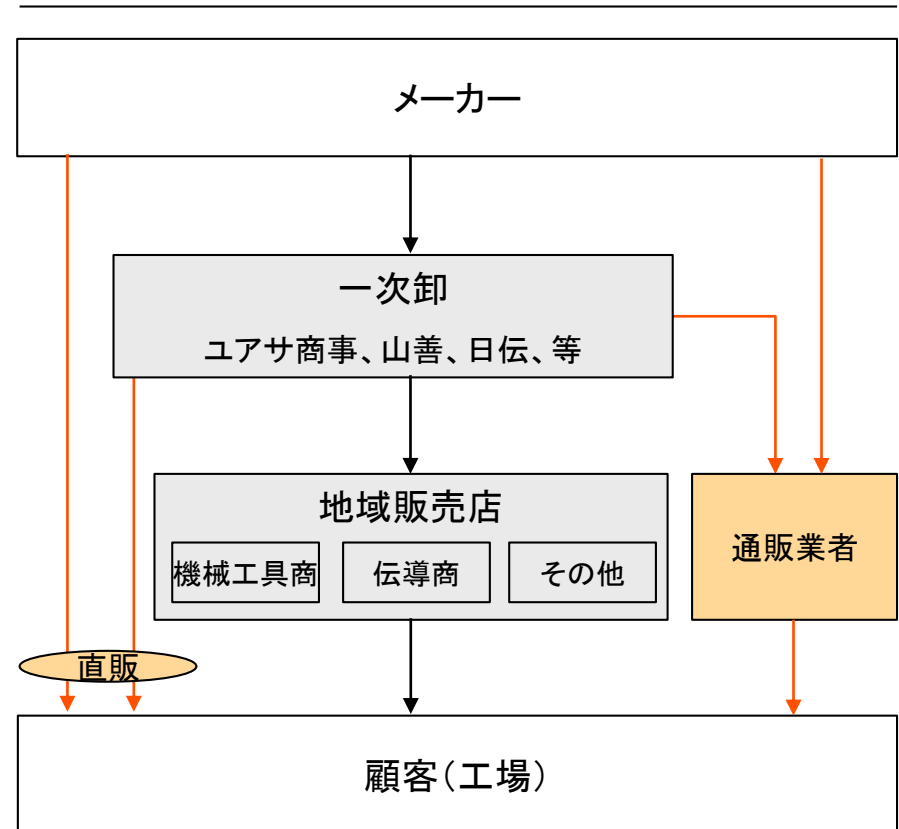
## 機械・工具の商流の変遷(サマリー)

- 機械・工具は、メーカーから一次卸、地域の販売店を経由してエンドユーザー(工場等)に納入されるのが伝統的な商流
- 近年は通販業者を通じた商流、メーカーや一次卸が直販に取り組むケースも増加し、伝統的業者は板挟みに合っている

伝統的な商流



近年の商流



# 機械・工具業界を取り巻く環境(過去～現在)

## 業界の大きな潮流

- 国内需要の減退
  - 製造拠点の海外シフト
  - 国内の設備投資意欲停滞
- メーカー・一次卸によるエンドユーザー直販強化
  - 大手・大口、優良顧客の囲い込み
  - 物流・商流の中抜き
- 新たな販売チャネルの台頭
  - カタログ通販、ネット通販

## 起きていること

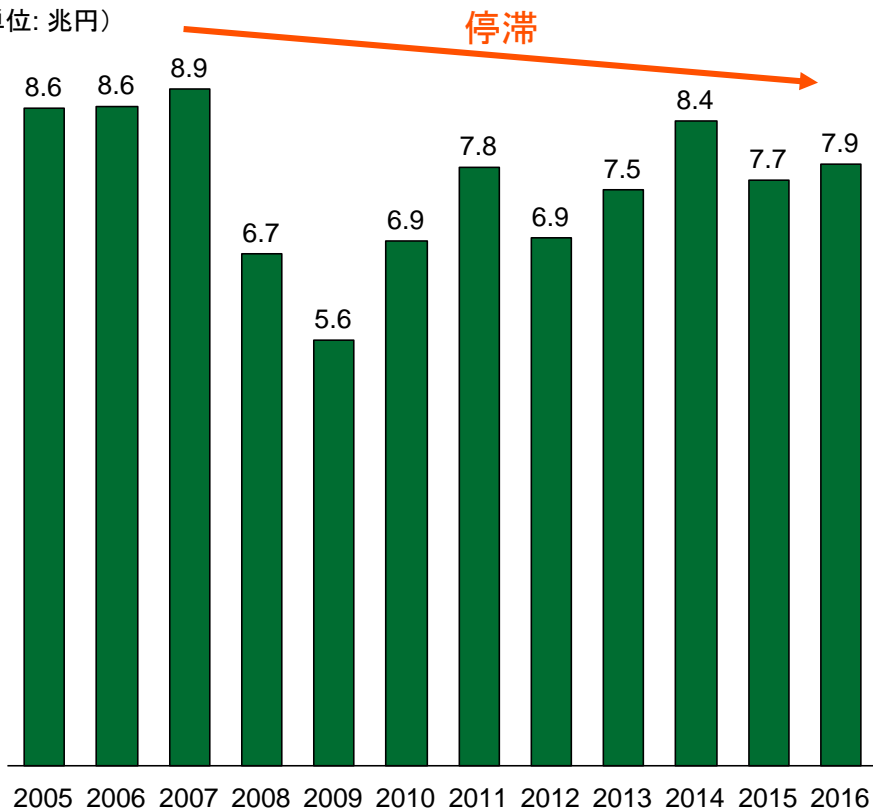
- 伝統的な機械・工具の地域販売店が苦戦
- 事業承継の問題もあり廃業も増加

# 製造業の機械受注は停滞、海外現地生産比率は上昇

- 機械受注統計によると、産業機械の受注額は2016年後で7.9兆円であり、リーマンショック前の水準には戻っていない
- 一方で国内の製造業企業の海外生産比率は上昇傾向が続く

## 産業機械受注額推移

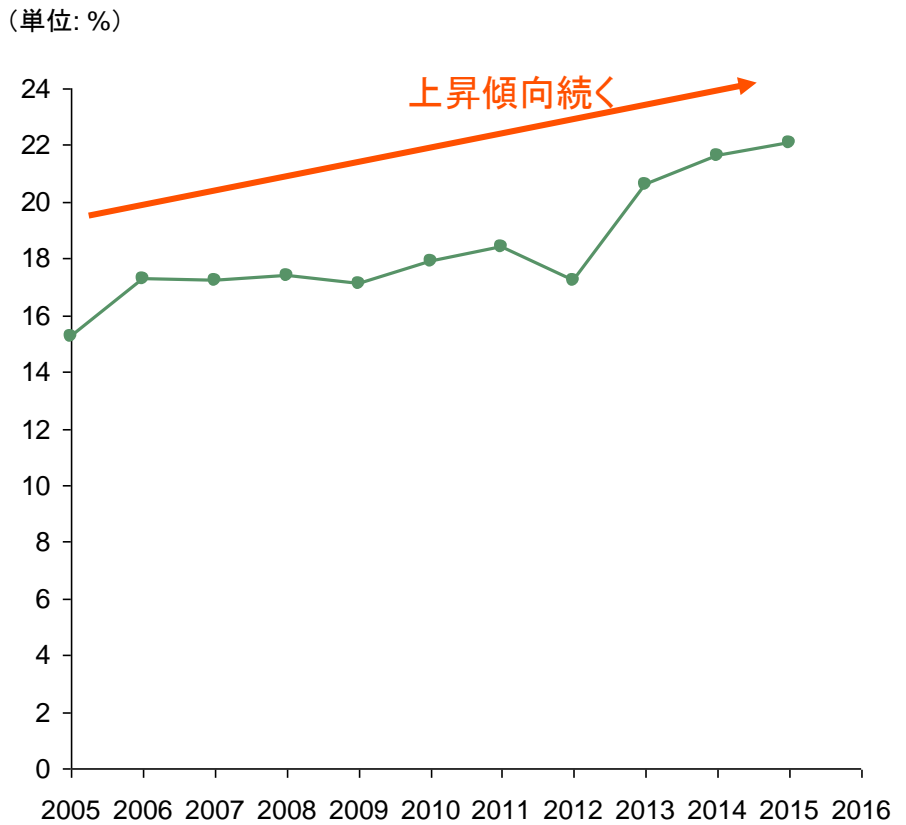
(単位: 兆円)



(年度)

## 製造業の海外現地生産比率

(単位: %)



(年度)

出所: 機械受注統計(内閣府)

## SAMPLE版はここまでです。

続きは、業界チャンネル 特集レポート にてご覧ください。

特集レポート一覧はこちら ▶

“業界チャンネル 特集レポート”とは、

経営コンサルタントの目線で特に伸びているビジネスに注目して分析。  
その成功の鍵や今後に言及し、「打ち手」を導出します。

